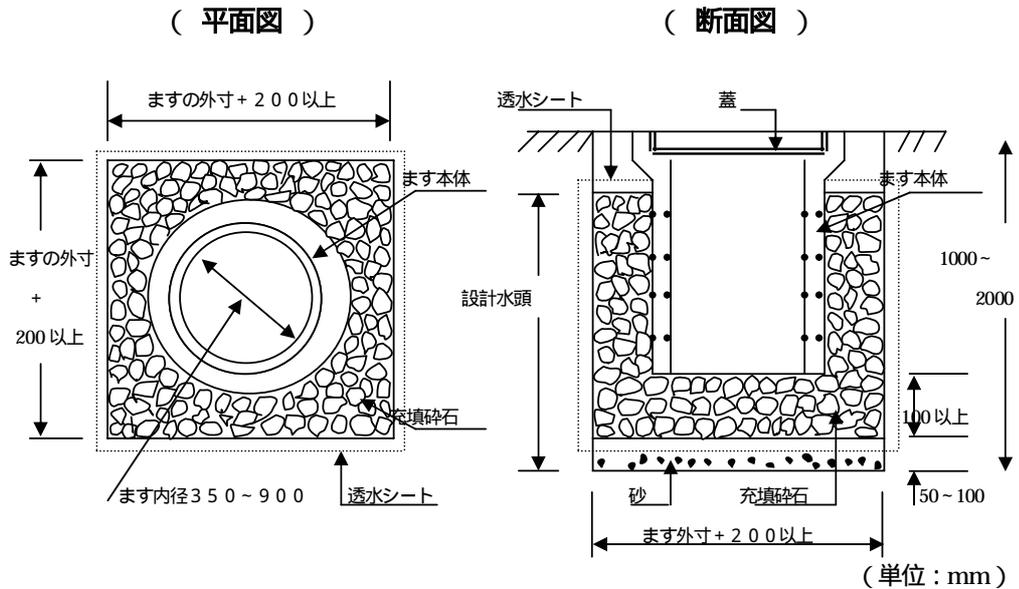


浸透設備の標準構造例

1 浸透ます

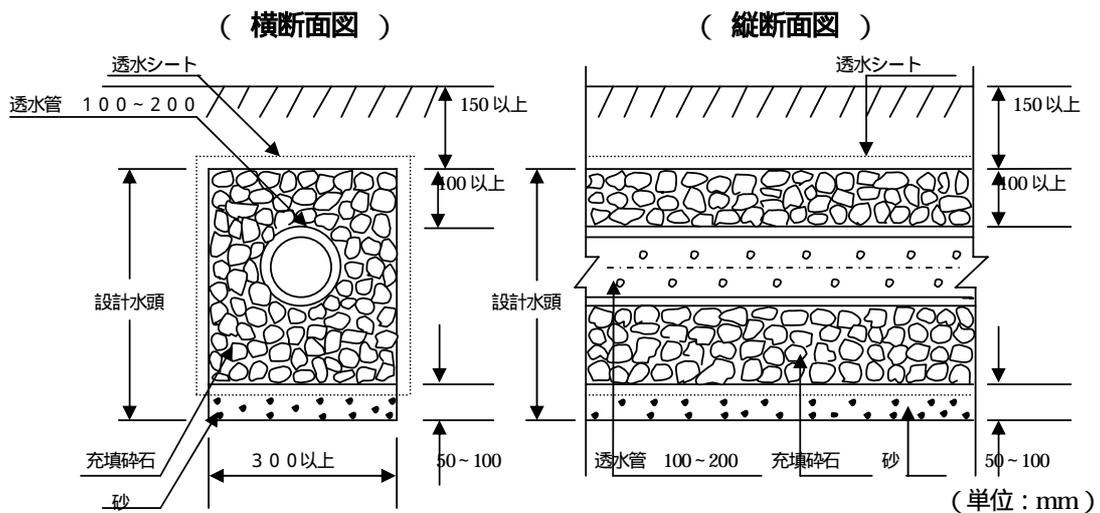
浸透ますは、透水性のますの周辺を碎石で充填し、浄化槽の放流水等を側面および底面から地中へ浸透させる構造とする。



浸透ますの標準構造

2 浸透管

浸透管は、掘削した溝に碎石を充填し、この中に浸透ますに連結された有孔管を設置することにより浄化槽の放流水等を導き、碎石の側面および底面から地中へ浸透させる構造とする。(浸透管の最大延長は、清掃等を考慮して管径の120倍以下を標準とする。)



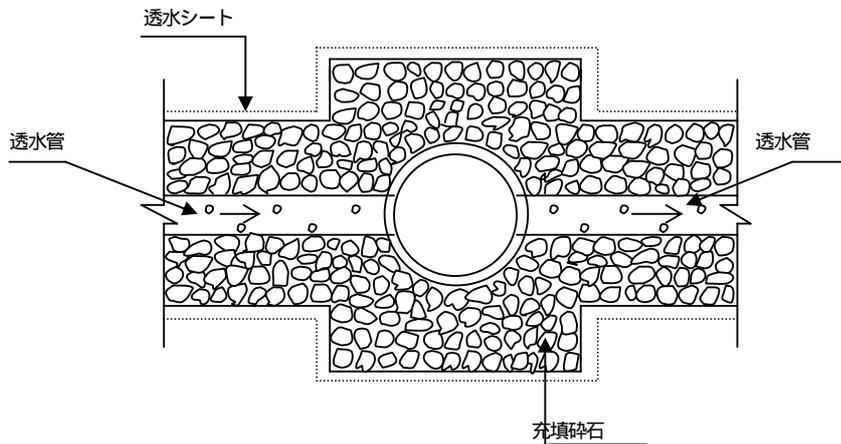
浸透管の標準構造

参 考

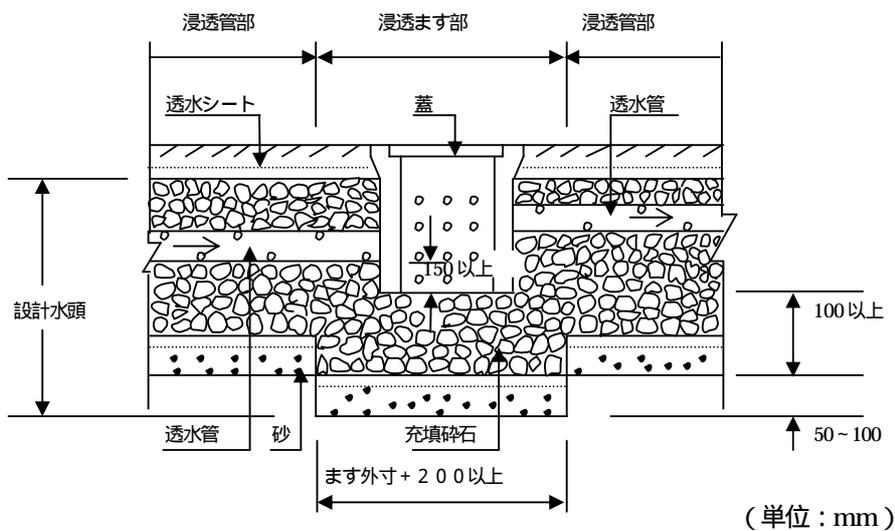
3 浸透ますと浸透管の組み合わせ

浸透ます単独で浸透処理できない場合は、浸透管と組み合わせで設置する。

(平面図)



(断面図)



組み合わせて設置する場合の標準構造

注：浄化槽の大きさと地質を考慮し、最適な組み合わせ、大きさとする

参考文献

社団法人 雨水貯留浸透技術協会 編

雨水浸透施設技術指針(案) 構造・施行・維持管理編